

○3番(相良昌宏君) 傍聴席の皆さん、こんにちは。議席番号3番の相良昌宏です。きょうはお忙しい中、傍聴にお越しいただきましてありがとうございます。議長より発言の許可をいただきましたので、通告に従って一般質問をさせていただきます。

境町は、先月11月5日において秋晴れのもと、町民運動会が盛大に催され、町民の躍動感があふれる競技が行われました。私が議員活動を始めてから6カ月が過ぎたところですが、町政も目覚ましく前へと進んでいます。境ふるさと祭りにおいては、いかだレース、日本3大花火師による2万800発にも及ぶ大花火大会が催され、ふるさと納税にも大きくつながりました。これも昨年を上回る勢いで納税が納まっているところでもあります。そして、補助事業として未来のエコカー社会を見据えた境町のスマートステーション、境小学校においてはスーパーグローバル事業としての英語教育、子供たちの将来への活躍となる事業を目指して町政も頑張っているところでもありますので、これからまたそういうふうな新しい子供たちの時代に向かって前へ進んでいってほしいと思います。

また、定住化促進事業が民間協力の事業をいただき、雇用者の定住化、境町の発展につながる建物屋上に山神町、旭町周辺住民の避難場所となるようなところを設け、利根川が大規模決壊したときの避難箇所として水害避難タワーを役場庁舎西側に今建てているところがあります。このような中で境町はいろいろな事業をとり行っているところではありますが、私はその中で農業をやっているものですから、農業振興の事業に取り組んでいるところの一般質問をさせていただきます。

農業振興支援事業者として仙台市の株式会社舞台ファームと境町が担い手の育成、農業振興に関する包括協定を締結して、グリーンカラー人材育成支援事業で新しい農業の方向性を目指して、6月の講演会、7月の研修視察旅行、9月の舞台ファーム、伊藤啓一常務による2回の講演会が行われ、11月には遠藤五一講師の「日本の米づくりの未来」の講演会が行われました。また、菊地守講師のドローンセミナーが行われ、新しい農業の方向性を目指すとする支援事業がとり行われているところでもあります。この中で次の3点が掲げられていますので、お伺いします。

1点目は、農業新時代の次世代型人材育成支援事業についてです。担い手の育成、農産物の流通、販売方法についてはお伺いします。

2点目は、農業サポーター支援事業について、どのような組織で構築を図るのかをお伺いします。

3点目は、農業ドローン支援事業について、ドローンの農業活用については、講習会、登録免許の補助はあるのかについてお伺いします。

私の質問は、この1項目3点について質問させていただきます。よろしくお伺いいたします。

○議長(倉持 功君) 農業振興についての質問に対する答弁を求めます。

建設農政部長。

[建設農政部長 小藺江 実君登壇]

○建設農政部長（小藺江 実君） 相良議員の農業振興についての1点目、農業新時代の次世代型人材育成支援事業についてとのご質問にお答えします。

当町においては、本年度より株式会社舞台ファームと連携して次世代型人材育成支援事業を実施しており、講演会や実践型講座などを実施してまいりました。6月には、株式会社舞台ファームの針生信夫氏から「日本を取り巻く農業ビジネスの現状と課題」と題し、今後の農業経営の課題や方向性の講演をいただき、11月には日本一の米のたくみと言われる遠藤五一氏から「おいしいお米のつくり方」と題し、有機農業の必要性や地域性を大切にしながらの農業の重要性について、体験をもとに講演を行っていただいたところでありました。

また、9月には実践型講座、商品力を強化するためにはマーケティング力を高めるというテーマで2回の講座を実施、11月にはドローンの農業活用について実践を交えて実施してまいりました。さらに、7月と8月には舞台ファームの関連施設であります宮城県の精米施設や水耕栽培施設の先進地視察研修を実施してまいりました。

今後、12月7日に実践型講座、米、野菜の現状と今後の展望について、1月に消費者の信頼確保とブランディング、2月に法人化に向けた準備事例について、3月にはこれまでの総括座談会の実施を予定しているところでありました。

舞台ファームの培ってきたノウハウなど貴重な講話を通して、これまでのやり方を検証する契機となり、今後の農業経営の基準になるものと考えておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、2点目、農業サポーター支援事業についてとのご質問にお答えします。昨今日本の農業においては、高齢化や担い手不足が大きな問題となっております。境町においても統計によれば販売農家が2010年の977件から2015年には819件と減少し、一方で農家の平均年齢は2010年は58.8歳から2015年には64.4歳へと5年間で高齢化が急速に進んでおり、農業の担い手不足解消は急務と言える状況にあります。これを解消する上でも農業サポーター制度は重要であり、当町においても舞台ファームと連携して制度の構築に向け取り組んでいるところでありました。

今年度は、仙台市の実施事例を紹介いただき、境町の農業者へアンケートなどを通じながら実際に導入していく上での必要なこと、または課題などの洗い出しを実施しております。11月に行ったアンケート結果によれば、73.7%の方が農業サポーター制度を導入したいというものでした。また、サポーターを必要とする時期ですが、春と秋の農繁期という意見が多い状況でありました。今後当町の農業者がどういった作業をサポーターに望んでいるのか、サポーター養成のための研修の必要性の有無など、引き続き調査研究に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、3点目、農業ドローン支援事業についてとのご質問にお答えします。ドローンの農業活用につきましては、農作物の生育診断を基幹として品質管理や収穫時期、収量の予測を可能としたり、病害虫の適正防除など圃場管理に非常に有効とされていることから、11月9日に講座を開催し、その効果などを農業者の皆さんに知っていただいたところであ

ります。

圃場の管理などに関しましては、自動運航による定点観測が既に実用化されており、比較的安価なマルチコプターなどで可能なため、基礎知識を習得して仕事に役立つ技術を身につけていただき、次世代の農業を牽引していただきたいと考えております。そのため、舞台ファームの系列会社でありますSENDA I ドローンファームによるドローンスクールの開催を2月中旬に計画しているところであります。今後とも舞台ファームと連携しながら農業者の支援を推進してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

相良昌宏君。

○3番（相良昌宏君） ご答弁ありがとうございます。1点目の農業振興支援事業として大変よい事業と思いますが、この農業者の次世代人材育成の担い手の育成の仕方として、農業の生産法人、個人とか、例えばそういう人たちがそういう農業者の人たちと舞台ファームとあと大手のコンビニエンスの業者と交渉するのは大変難しいと思いますので、そういう人たちの集まりを個々ではなく、生産法人とか、そういうふうな形で支援する行政のほうの支援、指導はあるのかお伺いします。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、相良議員さんのご質問にお答えします。

まさに議員ご指摘のとおりで、グリーンカラー人材というのは、自分たちでその農業法人をしたいとか、それからみんなで集まって農業法人をつくりたいとか、だけれども、作り方がわからなかったり、売り先がわからなかったり、やっぱりつくることにはたけているのですけれども、その後の売り先とかそういう経営のほうがたけていないという部分で支援をしていくというものを含まれておりまして、やる気のある人材はとにかく伸ばしていこうということで、舞台ファームさんのご支援をいただけるということで実施をさせていただいている事業であります。

それと、そういう若い人向けなのではないかと思われがちなのですが、例えばその境町もそうだと思うのですけれども、ほかの業種でも1社がもうかり出すと、ほかの人たちもまねして、あそこがやって成功したのでは、次もまねしようみたいな感じで、例えて言うのがどうか、いいか悪いかは。例えばコインランドリーが1個あって、いっぱい入っていると、境町みたいに小さな町でも4つか5つあるわけです。なので、やっぱりそれと一緒に、何かよさそうだなというと、皆さんまねし出しますので、境町の場合は。

です。多分このお米についても今5人の農家が始めましたけれども、これで例えばことしやって、少し収入が上がったりもうかったりすると、来年はではうちもちょっとやろうかなというのがふえてきたりなると思いますし、そして先ほど議員さんご指摘のとおりで、やはり法人化です。そういったところのプロセス、そういったものもこの舞台ファームさんに助けていただけるというふうに向っておりますので、どうぞご理解のほどよろしく

お願いしたいと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

相良昌宏君。

○3番（相良昌宏君） ありがとうございます。なかなか個人ではそういうところに出て、いろいろと交渉事とか、あとは難しいと思いますので、指導のほうよろしくをお願いします。

あと、農家がそういう事業者と参加協力するときに、自分の知り合いのところではやっぱりそういうコンビニエンスストアと契約しているところがあるのですけれども、エコファーマーとかそういう認証制度を全農家が受けてというところになっているような話を伺いました。そのようなところでいろいろなそういうふうな認証制度とか、相当取引するときの業者としてのいろいろなそういうふうなところがどんなところから出てくるのかということをお伺いします。よろしくをお願いします。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

農業政策課長。

○農業政策課長（上原正広君） ただいまの相良議員さんのご質問にお答えいたします。

エコファーマー認証制度とかいうものも、今現在いろんな形で動いている中で、農協の部会さんなんかはそういった形で動いている部分があると思いますが、農協だし、以外の方が、例えば市場とかそういう流通からの要請を受けてどういう形でそういったいろんな形の認証を受けているというところが、ちょっと私どもでも余り承知していない部分がございます。

午前中の櫻井議員さんの質問にもございましたが、これからいろんな部分でGAPの取り組みというのが非常に強くなってくると思うのですが、そういった意味では、これからの流通に対して、午前中にもお話がありましたように、GAPの制度というものを大きく視野に入れてやっていくべきかなというふうには感じているところでございますので、よろしくをお願いいたします。

○議長（倉持 功君） 補足で、橋本町長、お願いいたします。

○町長（橋本正裕君） 補足をさせていただきます。

今、舞台ファームさん、東北のセブンイレブンのカット野菜は、全部この1社でやっている会社でありますけれども、今提携企業が例えばヤオコー、それからライフ、スーパー関係は。ヤオコーファームを舞台ファームさんでやってくれというオファーが来ていたり、それからファミリーレストラン系でいうと、サイゼリヤ、それからファストフードでいうとモスバーガー、そういったところに入っている会社さんでございますので、そういった認証とか、そういった仕組みも全てノウハウを持っている会社さんでありますので、逆に境町でいいものをつくっていただければ、その舞台ファームさんが仲介をしてそちらへ納入をしていただけるというようなことで進めている事業でありますので、多分さまざまなこういうところをこうしてくださいとか、そういう指導もしていただけるのではないのかなというふうに町としては期待をしているところであります。

ですので、その実績がない企業と組んでいるわけではなくて、もう売り先は非常に多くあって、なおかつ農水省の講演なんかでも、針生社長が行くと500人ぐらい、もう人が入れないぐらいになってしまうという方でありますので、今後境町も本当に針生社長と意気投合して、町のために、では境町のためになるのであれば協力するよということで協定をさせていただいておりますので、それに呼応した農業経営者の方々がまず先陣を切ってやっていただくことによって、それが波及をして、ほかの農家さんにもいくのではないかなというふうに思っている、それが町の今思いでありますので、いろんな認証だとか、いろいろな栽培法とか、それからいろんなものがあると思いますけれども、その部分については、もうクリアしている企業でありますので、そこがご指導いただいているということで、ご理解をいただければなというふうに思っております。ですので、今までやっていなくても、こういうふうにやったらいいよとかという、それをしっかり受けとめてやれる農家さんたちがどんどん、どんどん表に出ていくのではないかなというふうに町としては思っております。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

相良昌宏君。

○3番（相良昌宏君） ありがとうございます。

次、2点目に移ります。2点目もですが、これは農業サポーター支援事業として農家の人は個人でやっているの、なかなか雇い人を入れられない。本当の繁忙期というところで利用したい人が73.7%、これも春秋ということでやっておりますので、これの農家の少しでも手助けになると思えば、この農業サポーター支援事業は大変ありがたい事業だと思いますので、よろしくをお願いします。

次に、3点目の農業ドローン支援事業ですが、このドローンの一応活用もあるのですけれども、それを操縦とか免許とか、その講習会の講習料とか、いろいろ登録免許とか、その更新とかいろいろありますけれども、このところを詳しくお伺いしたいと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

農業政策課長。

○農業政策課長（上原正広君） ただいまの相良議員さんのご質問にお答えいたします。

ドローンに関しましては、先日ドローンセミナーを開催させていただきまして、当日18名の方が参加いただきまして、そのときにもお話ししましたとおり、2月の中旬以降ぐらいですか、にドローンスクールを開催するという予定になってございます。

先日講師として来ていただいた菊地先生におかれましては、SENDAI ドローンファームという中でドローン講師としての先駆者でございます。そういった中で、舞台ファームの関連の会社でございますので、費用については、通常JUIDAの認定スクールでございますと、28万円程度かかるという中で、舞台ファームと連携した中で20万ぐらいで何とか1人やっていただけるという流れでございます。きのうも議案に上程させていただいてございますが、今回の議案で補正予算を計上させていただいている中で、農業者の方の支援になればというふうに考えていますので、よろしくをお願いします。

それで、そのドローンスクールの費用のほかに、証明書の発行手数料というものが個人にかかってきますので、それにつきましても助成をさせていただければというふうに考えておりますので、よろしくお願いします。

先ほどの手数料につきましては、3万2,400円ほどの手数料がかかる予定でございます。以上です。

失礼しました。補足なのですが、その手数料につきましても町で50%は助成させていただきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いします。

○議長（倉持 功君） 通告時間を過ぎましたので、以上で相良昌宏君の一般質問を終わりとさせていただきます。

〔何事か言う者あり〕

○議長（倉持 功君） では、1回だけ。

○3番（相良昌宏君） いろいろありがとうございます。以上で私の1項目3点の一般質問は終わりますが、町長、関係部署にはご答弁ありがとうございました。町長のほうも1期4年間境町町政にお骨折りいただきまして、本当にご尽力ありがとうございます。この間境町は本当に元気ある明るい住みよい境町になりましたので、次期2期4年間もまたよろしく願いいたします。

これで私、以上で終わりにします。ありがとうございました。

○議長（倉持 功君） これで相良昌宏君の一般質問を終わります。